

SDReaderの使い方

——SD32との連携、インストール直後の環境設定から、基本的な使い方まで——

2004. 12. 09	第 1 版	青木治男
2004. 12. 15	第 2 版	青木治男
2005. 02. 10	第 3 版	青木治男

目 次

[1] 概要	1 ページ
[2] SD32 (sdtty) の簡単な使い方	1 ページ
[3] SDReaderのダウンロード	7 ページ
[4] SDReaderのインストール	8 ページ
[5] SDReaderの簡単な使い方	1 0 ページ

[1] 概要

従来は各種のSDソフトで作成したコールを紙にコピーして使用していましたが、SDReaderを使用するとパソコンの画面上で見ながらコール出来るようになります。

詳細の解説は、ヘルプ欄にあります。初學者向けに、かつ、全体の流れがわかるように、このソフトの基本的な使い方を作成しました。初めてインストールした直後に使えるようになるための最小限の使い方に絞ってあります。これ以上の使い方については、各自ヘルプを参照して研究してください。

なお、SD32(Sdttty)の隊形表示モードで作成したデータを取り込む前提で書いてあります。このため、前半に、SD32(Sdttty)の基本的な使い方も載せました。(SDCoupleその他のソフトとの組み合わせ使用については知見がありませんので、各自にてお願いします。)

[2] 「SD32(sdttty)の簡単な使い方」

(2 - 1) SD32(Sdttty)のインストール

SD32のインストール手順に関しては、松本さんのWebを参照してください。

http://www002.upp.so-net.ne.jp/y_matsu/sd/sd32/setupxp.html

また、必要ソフトのダウンロードに関しても下記Webを参照願います。

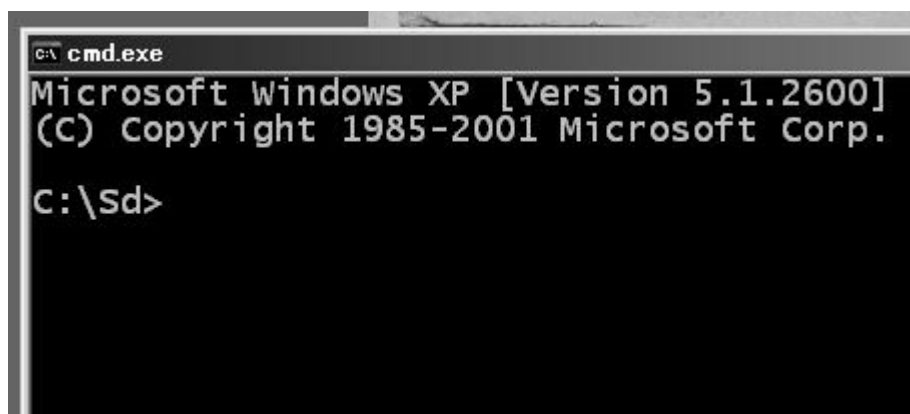
http://www002.upp.so-net.ne.jp/y_matsu/sd/sdsoft/

(2 - 2) インストール直後の立ち上げ

デスクトップの「cmd.exe」のショートカットをダブルクリックします。

そうすると「MS-DOSプロンプト」の黒い画面が立ち上がり、「C:\Sd >」のように、インストール先の階層、フォルダ名を表示します。その後、「us」と入力して、表示の「¥」をバックスラッシュに書き換えます。→→そうしないと文字化け、正常なキー操作ができない等のトラブルとなります。また、この操作はインストール直後の立ち上げ時1回のみ行います。

また、立ち上げた時に最初から下図のようにバックスラッシュとなっていたら、この操作は不要です。

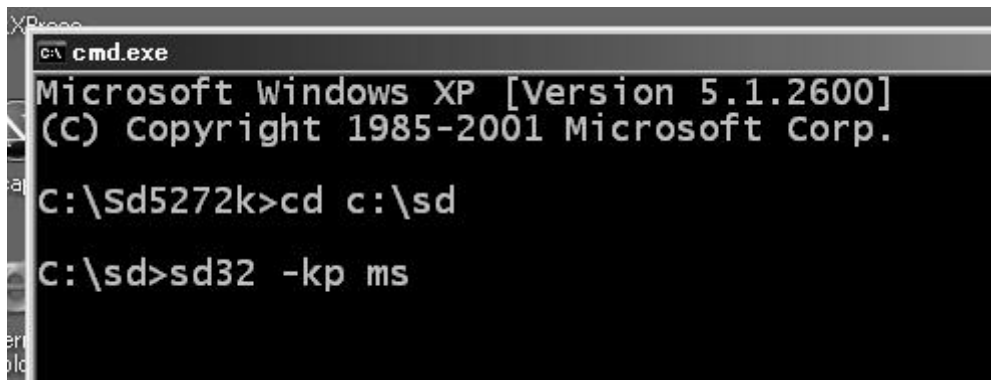


(2 - 3) 2回目以降の立ち上げ

以降は(1)と同様に「MS-DOSプロンプト」を立ち上げます。

そして最初に「sd32 -kp ms」のように入力します。

「-kp」が隊形の表示の指定「Keep Picture」で表示不要の時には、はずしてもよい。(SDReader併用の時にはこの指定を推奨します。この指定をしないと、SDReader上で隊形表示されません。)



```
cmd.exe
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:\Sd5272k>cd c:\sd

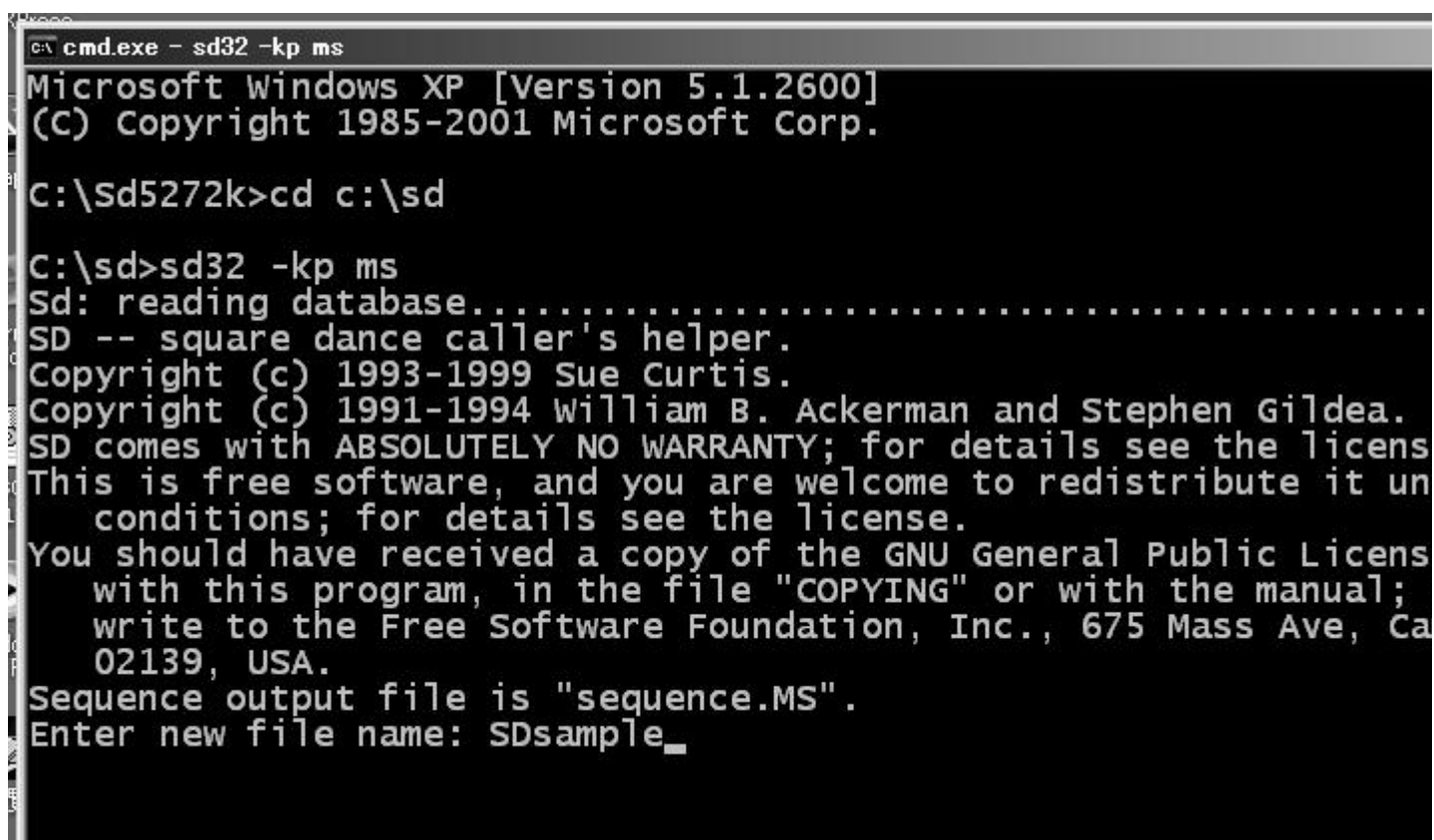
C:\sd>sd32 -kp ms
```

「ms」がレベル表示で、ms plus a1 a2 c1 c2 c3a c3 c4a c4 c4z のどれかが選択でき、指定しないと、ms になります。また、このレベル指定が「SDReader」に読み込む時のレベルにそのまま適用されます。

(2 - 4) ファイル名の設定

「enter new file name」でファイル名を設定しますが、このファイル名がSDReaderに読み込む時にそのまま使用されます。

注意 最新バージョンでは8文字の文字数制限はなくなりました。あとで区別しやすいように、レベル / 作成月日等を入れると便利です。ここでは「SDsample」と入れました。



```
cmd.exe - sd32 -kp ms
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:\Sd5272k>cd c:\sd

C:\sd>sd32 -kp ms
Sd: reading database.....
SD -- square dance caller's helper.
Copyright (c) 1993-1999 Sue Curtis.
Copyright (c) 1991-1994 William B. Ackerman and Stephen Gildea.
SD comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details see the licens
This is free software, and you are welcome to redistribute it un
conditions; for details see the license.
You should have received a copy of the GNU General Public Licens
with this program, in the file "COPYING" or with the manual;
write to the Free Software Foundation, Inc., 675 Mass Ave, Ca
02139, USA.
Sequence output file is "sequence.MS".
Enter new file name: SDsample_
```

(2 - 5) labelの設定

最初の「enter label」は適当な名称をいれます。(SDReaderでは無視されます。)
ここでは「1」と入れてあります。

```
conditions; for details see the license.
You should have received a copy of the GNU General Public License
with this program, in the file "COPYING" or with the manual
write to the Free Software Foundation, Inc., 675 Mass Ave,
02139, USA.
Sequence output file is "sequence.MS".
Enter new file name: SDsample
Specify text label for all sequences.
Enter label: 1
```

(2 - 6) numberの設定

「enter number」で設定された数値が、SDReader上でそのまま番号表示されます。

「sd32 -kp *」でソフトを立ち上げた最初のシークエンスのみ、この番号が設定でき、次のシークエンスからは自動的に「+1」されます。ここでは「1」と入れました。

注意 「enter label」「enter number」で使用する文字数は、それぞれ合計15文字以内としてください。そうしないと、エラーとなります。

```
Sequence output file is "sequence.MS".
Enter new file name: SDsample
Specify text label for all sequences.
Enter label: 1
Specify starting sequence number.
Enter number: 1
```

(2 - 7) シークエンス作成の開始

「enter start up command」で実際にシークエンスの作成を開始します。

まず、「heads start」

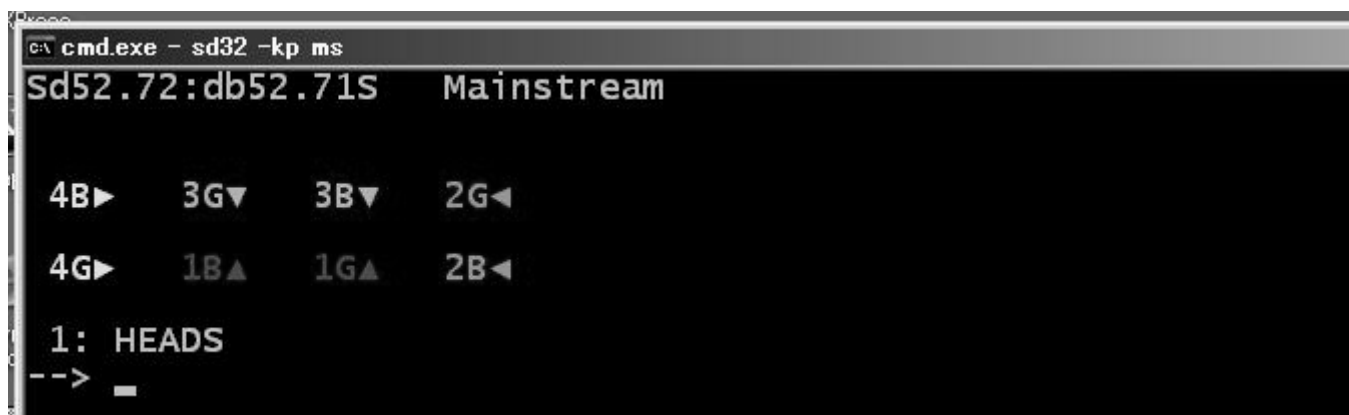
「sides start」

「just as they are」 Static Set (all 4 couples のスタートの時)

「heads 1p2p」 Headsが左側の line Facing in

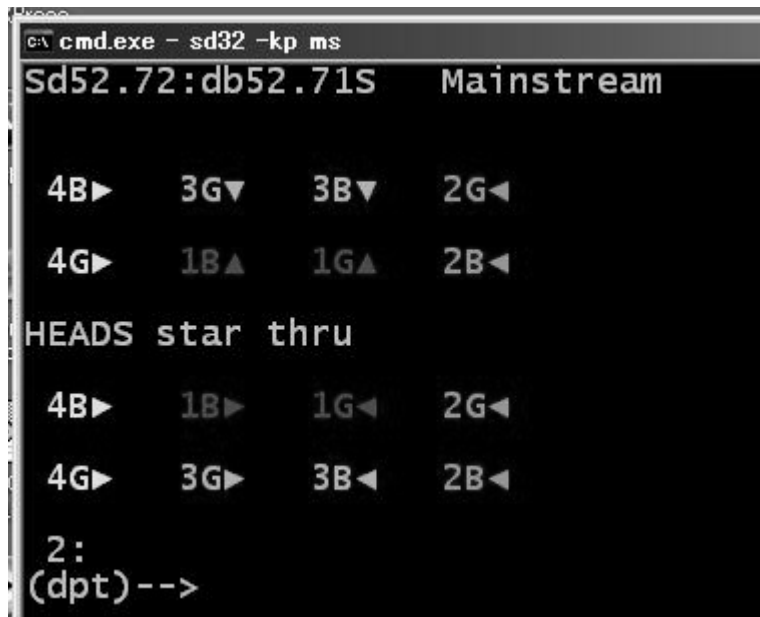
「sides 1p2p」 Headsが右側の line facing in

のどれかを選択すると、隊形がカラーで表示されます。ここでは「heads start」と入れました。



```
cmd.exe - sd32 -kp ms
Sd52.72:db52.71S Mainstream
4B▶ 3G▼ 3B▼ 2G◀
4G▶ 1B▲ 1G▲ 2B◀
1: HEADS
-->
```

表示された隊形から、設定されているレベルで可能なコールを選択し、正確な英語で入力します。スペルミス・レベルオーバーのコールを入力すると「Enter」キーを押してもアラーム音になり、受け付けません。その代わりに、全部の文字を入力しなくても頭の何文字かを入力して「スペース」キーを押すと重複する単語がなければ受け付けます。受け付けると、そのコールが終了した隊形が表示されます。ここでは「star thru」と入力しました。



引き続き、この終了した隊形から動作可能なコールを選択して、入力します。この時、ソフト上ではボディフロー・右手左手の順などは無視して入力を受け付けてしまいます。あらかじめ、ボディフロー / 左右の手の動き等を十分確認してから次のコールを入力してください。

すべて小文字で入力し、単語と単語の間はスペースを空けます。ただし、「cloverleaf」のようにひとつの単語として登録されているものもありますので注意が必要です。そのような場合、「clover」まで入力してから「スペース」キーを押すと残りの部分が自動的に表示されます。このように、全部の文字を入力しなくても、頭の何文字か入力して「スペース」キーを押すと、重複した単語がなければ受け付けます。

また「shift」を押しながら「?」を押すとその時に適用可能なコールが表示されます。

——「More」表示されたら「スペース」キーで次の表示、「Delete」で表示が中止されます。

——表示が欄からはみ出すような時には、コールを途中まで入力してから「shift」を押しながら「?」を押すとその次に続けて入力可能なコールのみ選択表示されます。

また、欄外となった部分は欄の右側のスクロールバーの三角マークをクリックすると見ることができます。

——隊形を再度表示させる場合には「refresh display」と入力します。

「ends」「centers」または「grand」「left」または「tandem」その他などは、個別に「enter」キーを押して入力してから次のコールの入力を続けます。

「do your part」-->「dyp」、 「u turn back」-->「utb」のように省略したコールも入力可能です。

レベルオーバーを入力したい時、たとえば「Plus」レベルで「1/2 scoot back」を入力したい時には、次のようにします。

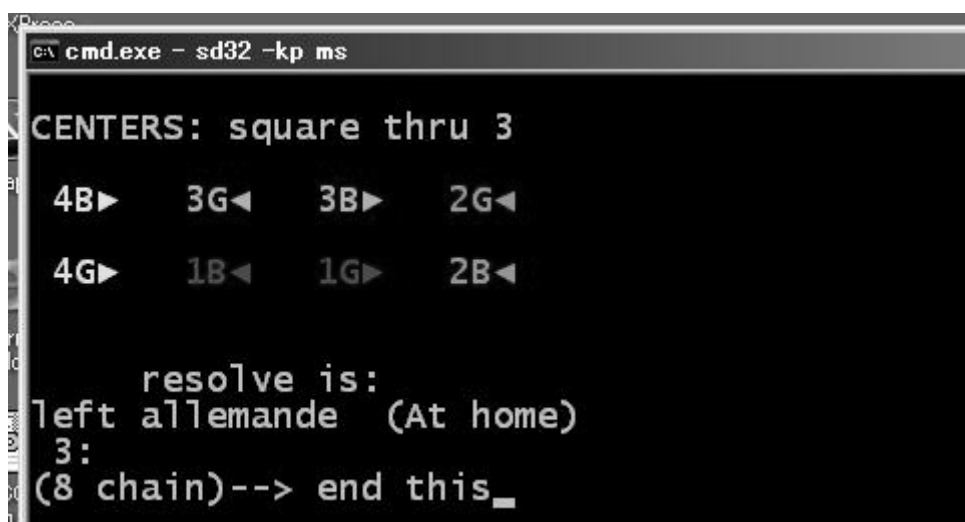
```
「toggle concept levels」 「enter」  
「1/2」 「enter」  
「scoot back」 「enter」  
——— 一行ごとに「enter」キーで入力します。
```

入力したコールを修正したいときには「undo」と入力すると直前に入力したコールが削除されます。

(2 - 8) ゲットアウト

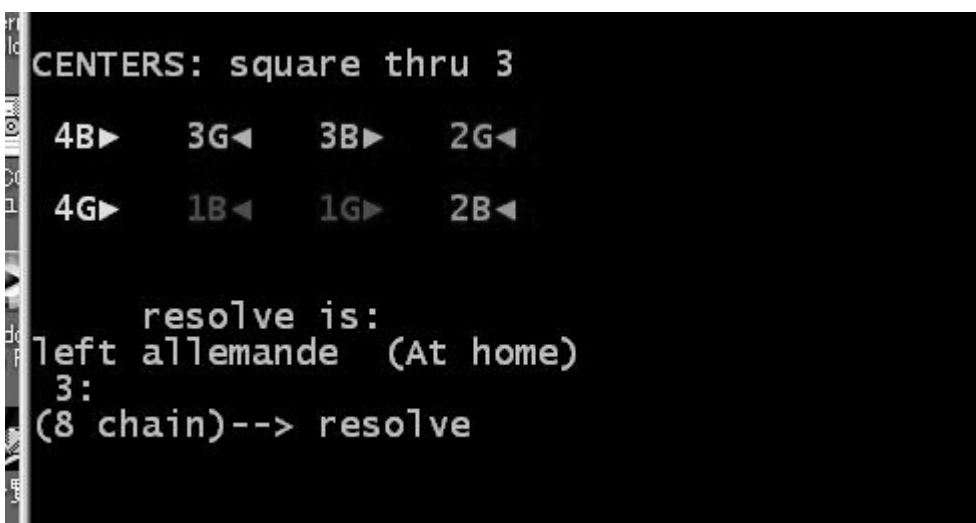
シーケンスの流れでゲットアウト可能な隊形になると自動的に「resolve is : ***」と表示されます。

ここで終了したい時には「end this」と入力します。



```
cmd.exe - sd32 -kp ms  
CENTERS: square thru 3  
4B▶ 3G◀ 3B▶ 2G◀  
4G▶ 1B◀ 1G▶ 2B◀  
  
resolve is:  
left allemande (At home)  
3:  
(8 chain)--> end this_
```

これ以外のゲットアウトを選択したい時、または、上記表示がされていない状態の時に、コールを終了してゲットアウトをしたい場合には「resolve」と入力します。



```
CENTERS: square thru 3  
4B▶ 3G◀ 3B▶ 2G◀  
4G▶ 1B◀ 1G▶ 2B◀  
  
resolve is:  
left allemande (At home)  
3:  
(8 chain)--> resolve
```

そうすると、ゲットアウトの候補が表示されます。

- その候補を採用する場合には「accept」と入力し、その後「end this」と入力します。
- 次の候補を表示させる時には「find」と入力します。別の候補が表示され、この候補を採用する場合でも必ず最後に、「accept」および「end this」と入力してください。
- 複雑な隊形から「resolve」をかけるとゲットアウトがみつけれずに「failed」と表示されることがあります。そのときは、「undo」と入力して通常の作成モードに戻り、簡易な体形に戻してから再度「resolve」を行います。

(2 - 9) シークエンス作成の終了

「end this」と入力すると「enter new label」と表示されるので、適当な名称を入力すると、その名称で作成したシークエンスが完結します。

ここで設定された名称がSDReaderのシークエンスリスト欄に表示されますので、レベル・難易度・作成月日等を入れて設定します。ここでは「SDsample_01」と入れました。

```
center four [trade]
4B▶   3G◀   3B▶   2G◀
4G▶   1B◀   1G▶   2B◀

      resolve is:
1left allemande (At home)
  3:
(8 chain)--> end this sequence
Label is "1".
Enter new label: SDsample_01
```

次に「enter start up command」と表示されますので、続けて同一レベルで作成する場合には(2 - 7)項から再度実施します。

レベル変更する場合には「exit」と入力して、一度作成モードから抜け、再度「sd32 -kp **」から始めます。

終了する場合には「exit」「exit」と2回入力し、「MS-DOSプロンプト」を終了させます。

—ただし「enter new label」のところで「exit」と入力するとlabelとして登録されてしまいます。必ず「enter start up command」以降で終了させてください。

```
center four [trade]
4B>   3G<   3B>   2G<
4G>   1B<   1G>   2B<

1left allemande (At home)

Sequence 1 written to "Sdsample".
Enter startup command> _
```


[3] SDReaderのダウンロード

SDReaderをダウンロードする場合には下記のWebを開きます。

http://members.at.infoseek.co.jp/osam_kawamura/SDReader/index.html



・ Download(ダウンロード)
をダブルクリックします。



SDReaderSetup.exe Ver.***
(日本語インストーラー付き約*. *MB)
をダブルクリックします。



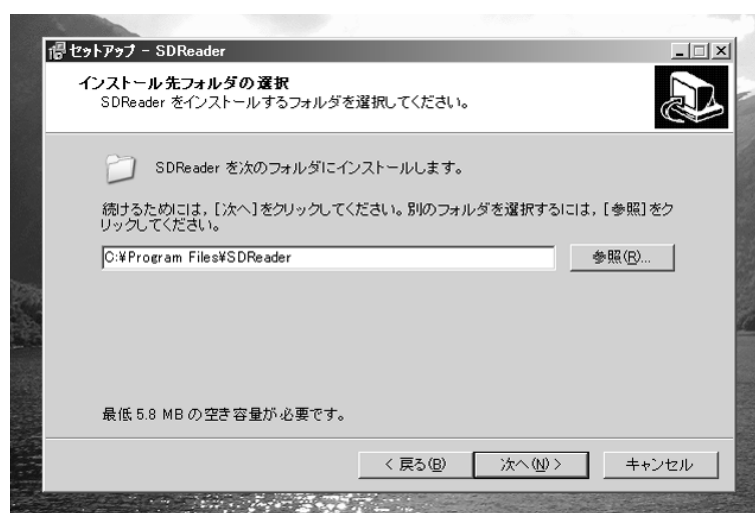
適当な場所に「SDReaderSetup.exe」
を保存します。

[4] SDReaderのインストール

保存した「SDReaderSetup.exe」をダブルクリックします。



「次へ」をクリックします。



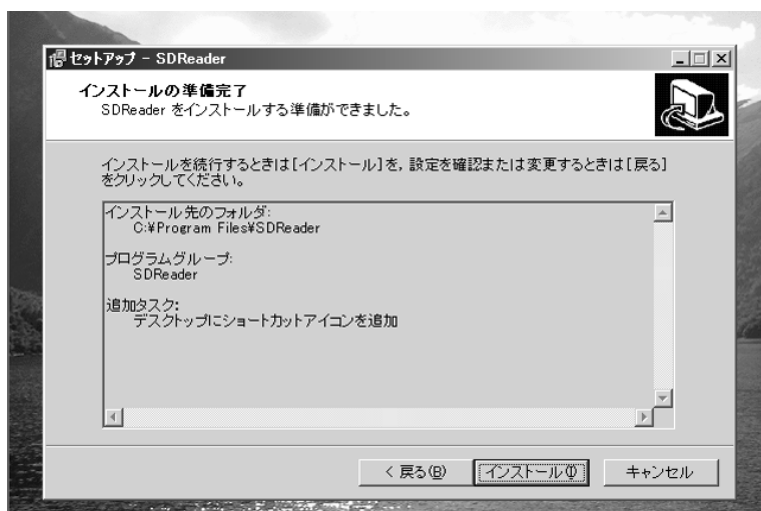
デフォルト設定のまま
「次へ」をクリックします。



デフォルト設定のまま
「次へ」をクリックします。



「デスクトップに・・・」の前にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



「インストール」をクリックします。



「終了」をクリックします。

[4] SDReaderの簡単な使い方

(1) 「スタート」->「プログラム」->「SDReader」->「SDReader」を選択して、SDReaderを立ち上げます。またはデスクトップの「SDReader」アイコンをダブルクリックします。

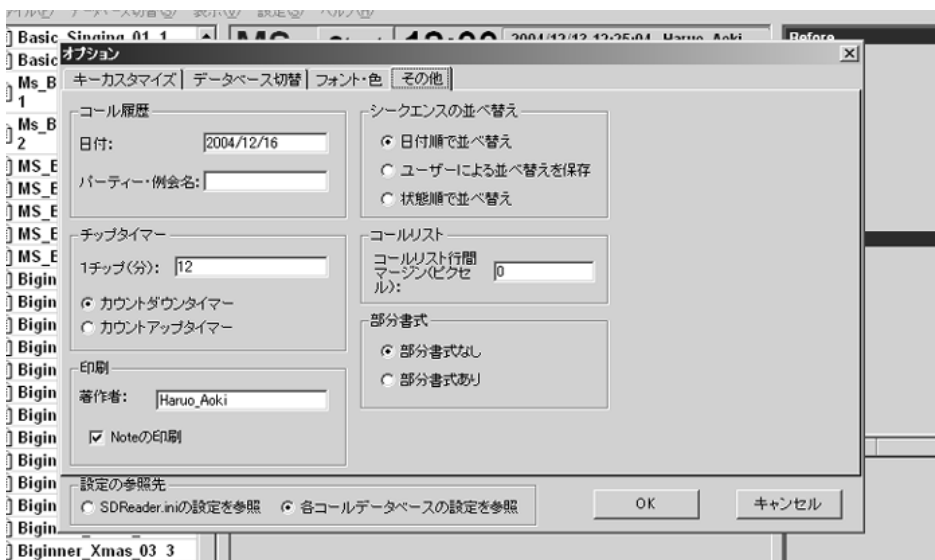


インストール直後に立ち上げたら、必ず「設定」から「オプション」を開き、「その他」タブを開きます。

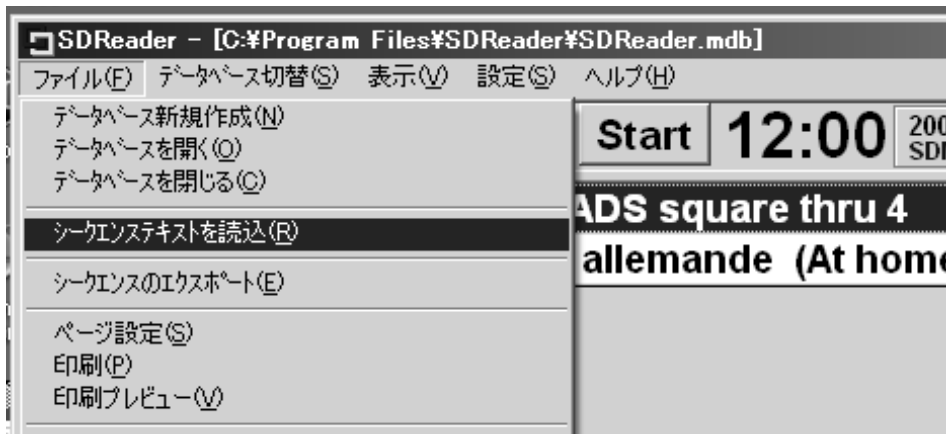


「印刷」欄の「著作者」に自分の名前、「Noteの印刷」の前にチェックを入れてから、「OK」を押します。これにより、プリントアウトした時に、著作者名とsd32.exeの「Enter new label」にて設定した名称が印刷されます。(2-9項、6ページ参照) この時、漢字で名前を入れると著作者名を表示したり印刷する時に文字化けしますので、必ず半角英数字で記入してください。

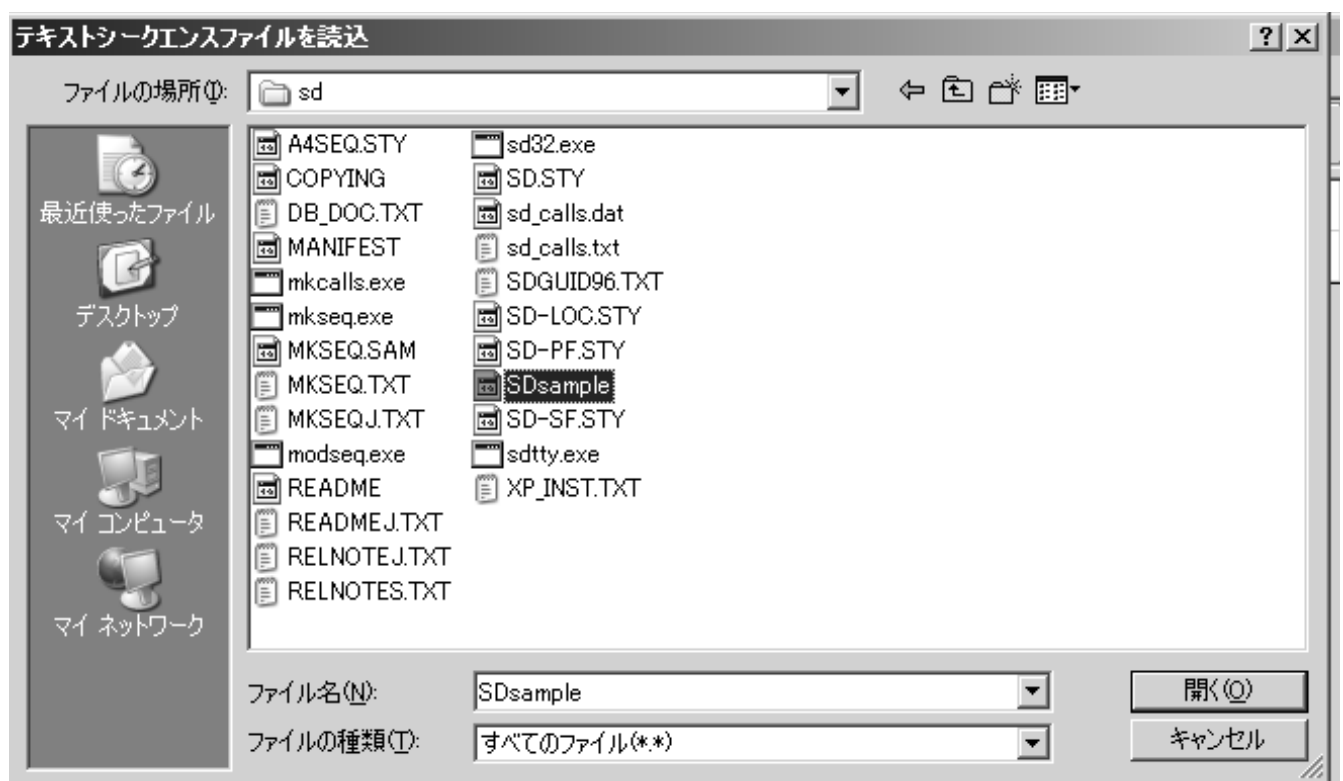
上記の設定をしない場合でも、インストール直後に必ず一度「設定」から「オプション」を開き「OK」を押します。これをしないと、プリンターが正常に動作しない場合があります。



(2) 「ファイル」 から「シークエンステキストを読み込」を選択します。



「c:\sd」フォルダが自動的に開きますので「enter new file name」で指定したファイル名を選択し「開く」を押します。(2-4項、2ページ参照) ここでは「SDsample」を選択しました。もし、「c:\sd」が自動的に開かない場合には上段「ファイルの場所」の右側の三角マークをクリックし、ローカルディスク (C:) の中の「sd」フォルダを選択してください。



このとき自動的にレベル毎に選別されSDReaderのデータベースに収納されます。

SDReader上で、SD32にて作成したレベルと異なるレベルに登録したい時には、下記の手順にてレベル書換えを行い、読み込ませます。

word等のテキストエディタを開きC:\sdフォルダ内の該当ファイルを読み込みます。

最上段の行にレベル表示がありますので、これを書き換えます。

たとえば「C2」から「Mainstream」のように書き換えて保存します。(Mのみ大文字)

その後、「———件読み込みました。」と表示されるので「OK」を押します。

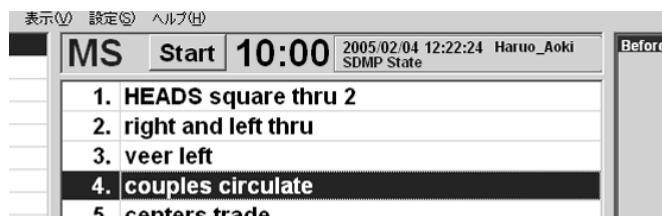


(3)「表示」をクリックすると、sd32にて設定したレベルが表示されるので、この中から該当「レベル」を選択します。



(4)そうすると、シークエンスリスト欄・「call」欄・「隊形表示」欄の3つが表示されます。

また、その中のコール欄には「レベル」「チップタイマー+Startキー」「日時・著作者」が表示されます。



(5)「下矢印」または「上矢印」でシークエンスリスト欄の選択行を変更すると、Call欄の内容も対応して入れ替わります。

(6)「tab」または「右矢印」を押すと選択行がcall欄に変わり、Sd32でKeepPictureしてあると右側の欄に「Before」と「After」の2つが隊形表示されます。

「右矢印」「左矢印」は、シークエンスリスト欄とコール欄の間を行き来し、「tab」の場合にはシークエンスリスト欄・Startキー・コール欄と順番に移動します。

(7)「下矢印」または「上矢印」でCall欄の選択行を変えると、対応して隊形表示も変更されます。

(8) 1シークエンスコールが終了したら、そのまま「下矢印」を押すと、次のシークエンスが表示されその最上段が選択されます。

または、「tab」または「左矢印」を押すと選択行がシークエンスリスト欄に変わりますので、「下矢印」または「上矢印」で次にCallするシークエンスを選択します。

(9)1チップが終了したら、そのチップで使用したコールを左側の欄から選択して、マウス右キーでクリックすると下記の設定ができます。



コール未	アイコンが白地のまま
チェック済	アイコンが青色表示
コール済	アイコンに「レ」印付加
コールOK	アイコンに丸印付加
スマイル	アイコンに「スマイル」印付加
鉛筆	アイコンに「鉛筆」印付加
不明	アイコンに「？」印付加
注意	アイコンに「！」印付加
コールNG	アイコンに「X」印付加
シンギング	アイコンに「8部音符」印付加
ローテート	アイコンに「丸上下矢印」付加
オープニング	アイコンに「op」印付加
フィニッシュ	アイコンに「fin」印付加
非対象	アイコンに「as」印付加

また、テンキーにての設定も可能です。

コール未	テンキーの「1」
チェック済	テンキーの「2」
コール済	テンキーの「3」
コールOK	テンキーの「4」
スマイル	テンキーの「5」
鉛筆	テンキーの「6」
不明	テンキーの「7」
注意	テンキーの「8」
コールNG	テンキーの「9」
シンギング	「Shift」 + テンキーの「1」
ローテート	「Shift」 + テンキーの「2」
オープニング	「Shift」 + テンキーの「3」
フィニッシュ	「Shift」 + テンキーの「4」
非対象	「Shift」 + テンキーの「5」

(注) 「設定」 --> 「オプション」の画面を開き、「状態順に並び替え」の前に「レ」印をつけると、上記の状態順に並べ替えが可能です。

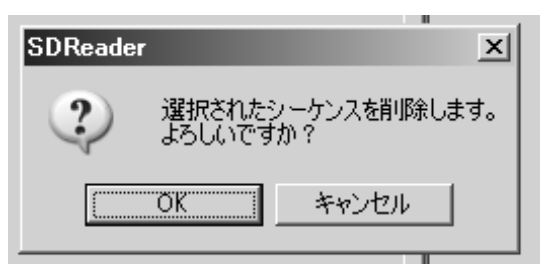
ただし、ソートし直すのは、ソフト立ち上げ時、またはレベル表示の変更時のみに行われ、リアルタイムには変更されませんので注意してください。

また、ここで「コール履歴」の記入もできます。シークエンスリスト欄の項目をマウス右キーでクリックして、「コール履歴追加」を選択すると下図が表示されます。



「パーティ・例会名欄」に記入すると、SDReaderの隊形表示欄の下に「Call Date」「Party Name」が表示されます。

同様に、シークエンスリスト欄の項目をマウス右キーでクリックして、「削除」を選択すると、そのシークエンスをSDReader上から「削除」できます。



(10) シークエンスリスト、コールの訂正

訂正したい、シークエンスリスト、コールの欄をクリックしてリバーズ表示させます。そして「enter」キーを押して書き換えモードにしてから、訂正入力を行い、再度「enter」キーを押して確定させます。

書き換え途中で中止したい時には「Esc」キーを押してください。

ただし、書き換えはSDReaderの表示上のみで、印刷した場合には元の表示のままとなります。

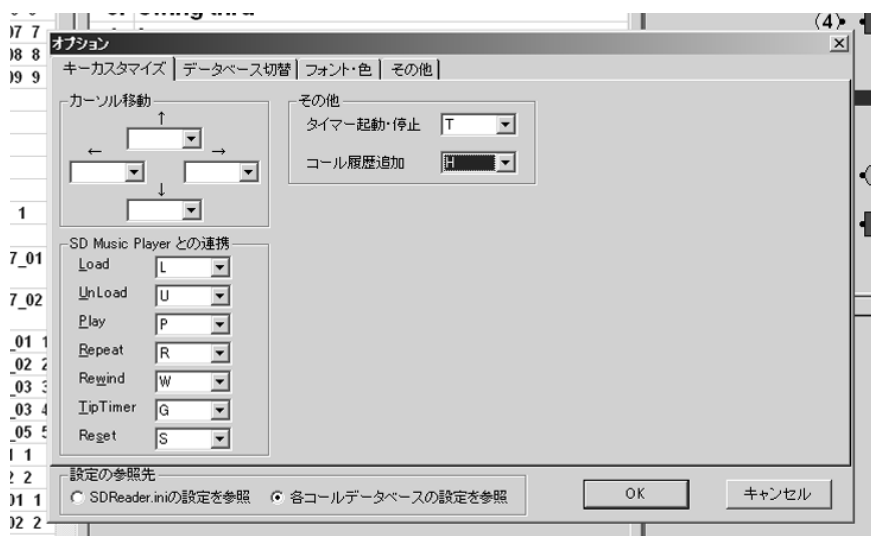
(11) キーのカスタマイズ

「上下左右矢印」のキーの動作を、その他のキーに割り付けることができます。

——キーのカスタマイズを行っても「上下左右矢印」のキーの機能は有効です。

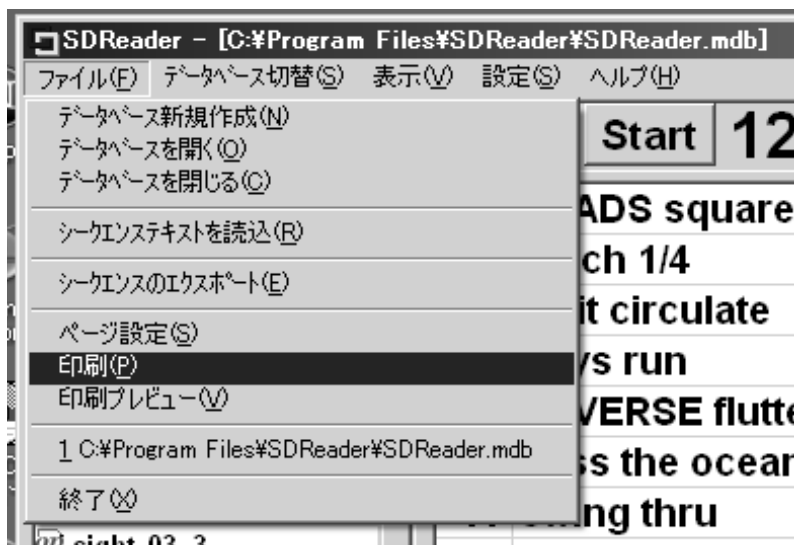
「設定」→「オプション」の画面を開き、「上下左右矢印」のキーの三角マークをクリックして、任意のキーを選択し設定します。

——→「0~9」の数字、「A~Z」のアルファベット、「space」、「F1~F12」のファンクションキーが選択可能です。



(13) シークエンスリストの印刷

シークエンスリストの中から印刷したいシークエンスを選択して、リバーズ表示させます。そして「ファイル」から「印刷」を選択して印刷します。



(14) シークエンスリストの保存

ソフト終了時に選択していたシークエンスリストの選択行が保存され、次のソフト立ち上げ時に、前回終了時の選択行が表示されます。